



かならずま
へんと、見よう。

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 拡大コピーをする。
- 2 お墓に花を供える。
- 3 人の言葉を疑う。
- 4 班長としての責任を果たす。
- 5 幼児といっしょに砂遊びをする。

1	
2	
3	
4	
5	

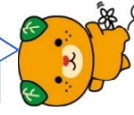
Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 がつぎの演奏を楽しむ。
- 2 学校からつうちがある。
- 3 りそを追い求める。
- 4 さいわいにもうまく進む。
- 5 なやんだ末にめいあんがうかぶ。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ 1 「拡大」の反対は「縮小」だよ。
- 2 「備える」と同じ読みだよ。
- 3 「疑わしい」という言葉もあるよ。
- 4 学級でも「班活動」をするよね。
- 5 「幼」は「幼稚園」と、「児」は「児童」と同じ読みだよ。
- Ⅱ 1 「き」は「理科の実験きぐ」の「き」と同じ字だよ。
- 2 「つうち」は「おしらせ」とも言うね。「つうしん」の「つう」と同じ字だよ。
- 3 「かんそう」の「そう」と同じ字で、「おもう」という意味があるよ。
- 4 「さいわい」は「しあわせ」ということだよ。
- 5 「めいじん」の「めい」、「あんない」の「あん」と同じ字だよ。



読みかえして
正しく書きます。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましよう。

- 1 友人の家を訪ねる。
- 2 今年は昨年より五日早く雪が降った。
- 3 物語のあら筋をまとめる。
- 4 権利を主張する。
- 5 本を三冊借りる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 おり紙でつるを作る。
- 2 しかられてもへいぜんとしている。
- 3 長い時をへる。
- 4 言葉のゆらいを知る。
- 5 もんげんを守る。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 先生が家に来ることを「家庭訪問」と言うよ。
- 2 「降りる」とは読みがちがうよ。
- 3 筋書きどおりに話が進むことがあるよね。
- 4 「権利」の反対の言葉は「義務」だよ。
- 5 本の数え方だね。
- 二 1 おり紙は、手を使うから「てへん」だよ。
- 2 「へいき」の「へい」と「しぜん」の「ぜん」の組み合わせだよ。
- 3 時間がたつことを「時間がけいかする」とも言うよね。
- 4 「ゆらい」とは、「ある物事がたどってきた道。いわれ。」のことだよ。
- 5 「もんげん」とは、「家のもんを入れるせいげん時間のこと」だよ。



からなまは
へんとを真ま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましよう。

- 1 窓のさんまでていねいにふく。
- 2 前を走っている人とのきよりが縮まる。
- 3 茶道では、正座してお茶をいただく。
- 4 晩ご飯を作る。
- 5 山の頂上に向かう。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 期限切れでむこうとなる。
- 2 布をおる。
- 3 物語のこうそうを練る。
- 4 有名な作家のじきひつの手紙。
- 5 でんちで動くおもちゃで遊ぶ。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 天気の良い日は、「窓」を開けるよね。
- 2 きよりが「短くなる」ことを言いかえると、「縮まる」になるよ。
- 3 ずっと「正座」をしていると、足がしびれるよね。「正」は「正式」と同じ読みだよ。
- 4 「朝」、「昼」、「晩」と言うよね。
- 5 「頂」は「山頂」と同じ読みだよ。
- 二 1 「む」は「むり」と、「こう」は「こうか」と同じ字だよ。
- 2 「いと」を使うから「いとくん」だよ。
- 3 「こう」は「こうせい」と、「そう」は「りそう」と同じ字だよ。
- 4 「じきひつ」とは「ちよくせつふでをとって書く」ことだよ。
- 5 「でん」は「でんき」と、「ち」は「いけ」と同じ字だよ。



ひらがなを
いねい

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 ごみを捨てないようにしよう。
- 2 目的の本を探す。
- 3 将来の夢を語る。
- 4 大会への参加が認められる。
- 5 宇宙について書かれた本を読む。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 新刊本が明日はつばいされる。
- 2 昔からのふうしゅうを守る。
- 3 明るいはひようじょうに心ひかれる。
- 4 おじがしよゆうする牧場。
- 5 よさんを決めて買い物をする。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「捨てる」と「捨う」をよくまちがえるよね。
- 2 未知の場所に行って、いろいろな物事を探ることを「探検」と言うよね。
- 3 「将来」と「未来」は同じような意味だよ。
- 4 人から「認められる」とうれしよね。
- 5 「宇宙旅行」に行ってみたいね。
- 二 1 「はつ」は「はつおん」と、「ばい」は「う(る)」と同じ字だよ。
- 2 「ふうしゅう」とは「その地方に長年伝えられてきた生活や行事のしきたり」だよ。
- 3 「ひよう」は「おもて」と、「じょう」は「かんじょう」と同じ字だよ。
- 4 「しよゆう」とは「自分のものとして持つこと」だよ。
- 5 「よ」は「よてい」と、「さん」は「けいさん」と同じ字だよ。



分かんないときは
先生を尋ねよう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 日当たりのよいところに干す。
- 2 出版された順に本を並べる。
- 3 期限を延長する。
- 4 実が熟して食べごろになる。
- 5 推理小説を読む。

1	
2	
3	
4	
5	

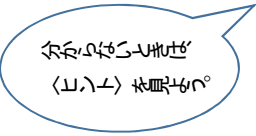
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 姉に教わりながらしゆげいをする。
- 2 しこう力がある。
- 3 選ばれたことをこうえいを感じる。
- 4 しょほ的なまちがいに気付く。
- 5 ぞつおんを気にせず集中する。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 せんとく物を「干す」ときは、よく乾くように日当たりのよいところを選ぶよね。
- 2 ベストセラーの本は、店頭が目立つ場所に「並べる」よね。
- 3 「延」は「延期」と、「期」は「期間」と同じ読みだよ。
- 4 「熟す」は「成熟」や「未熟」と同じ読みだよ。
- 5 「推理」とは、「事実や経験をもとに考え、まだ知られていないことについて考えること」だよ。
- 二 1 物をてづくりするのは楽しいよ。「げい」は「えんげい」と同じ字だよ。
- 2 「しこう力」とは「おもったりかんがえたりする力」のことだよ。
- 3 「こう」は「ひかり」と、「えい」は「さか(える)」と同じ字だよ。
- 4 「しょほ」とは「習いはじめの段階」のことだよ。「ほ」は「ほころ」と同じ字だよ。
- 5 「ぞつ」は「ぞつそう」と、「おん」は「おんせい」と同じ字だよ。


 かながらとまは
(へん) を書こう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 器械体操の選手の技を見る。
- 2 妹の机の上にプレゼントを置く。
- 3 階段を使って屋上まで行く。
- 4 花だんへの水やりを担当する。
- 5 思い出を胸に刻む。

1	
2	
3	
4	
5	

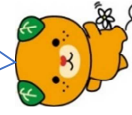
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 妹のこうぶつは少しあまい卵焼きだ。
- 2 じつような道具を開発する。
- 3 自分のちようしよをのぼす。
- 4 かりに失敗しても、チャンスは何度でもある。
- 5 みごとなせんせきを残す。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 スポーツを始める前にはしっかりと準備体操をするよね。
 2 教室には、机といすがあるよね。
 3 「階」は「二階建て」と、「段」は「手段」と同じ読みだよ。
 4 「担当」とは「仕事として受けもつこと」だよ。「担」は「分担」と同じ読みだよ。
 5 時を刻むものが時計だよ。
- 二 1 「こうぶつ」とは「すきなもの」のことだよ。
 2 「じつ」は「じじつ」と、「よう」は「ようじ」と同じ字だよ。
 3 「ちようしよ」とはよいところだよ。反対は「たんしよ」と言うよ。
 4 理科の実験のとき、よく「かせつ」を立てるよね。
 5 「せんせき」とは「たかひのせいせき」のことだよ。



かならずまね
（しよ）をまねて。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 幼い子どもたちと砂場で遊ぶ。
- 2 自分の住んでいる地域のことを知る。
- 3 骨おり損に終わる。
- 4 学級日誌に今日の感想を書く。
- 5 よけいなものを取り除く。

1	
2	
3	
4	
5	

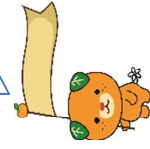
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 自分がしたことをはくじようする。
- 2 虫がかふんを運ぶ。
- 3 世界遺産になった富岡^{とみおか}せいし場。
- 4 しよかのさわやかな風。
- 5 朝ねぼうしてちようじがくるらう。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 細かい砂がまい上がってはこりのように見えるものを「砂ぼこり」と言うよね。
- 2 「地」は「地方」と、「域」は「海域」や「流域」と同じ読みだよ。
- 3 「骨がおれる」とは「活動する力を必要とする。困難だ。」という意味だよ。
- 4 「日記」と似ているけど、「日誌」の方がより公的なものだよ。
- 5 「除雪」は「雪を除く」、「除草」は「草を除く」ということだね。
- 二 1 「はく」は「こくはく」と、「じよう」は「しよらじよう」と同じ字だよ。
- 2 はなのおしげにあるこなのようなもの。虫や風によって運ばれて、めしげの柱頭につくんだよ。
- 3 「せいし」とは、「いとをつくること」だよ。
- 4 「しよか」とは「なつのはじめ」だよ。
- 5 「ちよう」は「たいちよう」と、「し」は「しそん」と同じ字だよ。



かなひらかな
をよむ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 国宝を見に行く。
- 2 将来は通訳の仕事がしたい。
- 3 楽しみながら俳句をよむ。
- 4 手を合わせて拝む。
- 5 忘れ物をしないように気を付ける。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 ろせんバスに乗る。
- 2 習ったことをおうようして問題を解く。
- 3 なみだがほおをつたう。
- 4 ひめいを上げる。
- 5 熱でけんけいする。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「奈良の大仏」も「国宝」だね。「宝」は「宝石」と同じ読みだよ。
- 2 「英語を日本語に訳す」と言うよね。
- 3 「五・七・五」のリズムで、「季語」を入れることが基本だよ。
- 4 手を合わせるから「てくん」が付いているね。ハエが足をすり合わせる姿も「拝んで」いるようだね。
- 5 勉強道具を忘れたら、授業で困るよね。
- 二 1 「ろせんバス」は、「決められたろろを決められた時間に走っている」よね。
- 2 「おう」は「たいおう」と、「よう」は「もち(いる)」と同じ字だよ。
- 3 「つた(える)」という字を書くよ。
- 4 「ひ」は「かな(しい)」と、「めい」は「な(く)」と同じ字だよ。
- 5 「か(わる)」と「かたち」という字の組み合わせだよ。



かなひなまは
へいと 煮る。

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでい
ねいに書きましょう。

- 1 県庁所在地を覚える。
- 2 組織の改革を進める。
- 3 卵からひながかえる。
- 4 今にも雨が降り出しそうな灰色の空。
- 5 鉄棒の練習をする。

1	
2	
3	
4	
5	

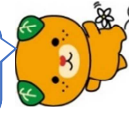
Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きま
しょう。

- 1 レモンのさんみを味わう。
- 2 名ぼにとらるくする。
- 3 劇のはいやくが発表される。
- 4 ひつきテストを受ける。
- 5 陸上ぶいんをつのる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- Ⅰ-1 愛媛県だと松山市が「県庁所在地」だね。
- Ⅰ-2 「改」は「改築」や「改造」と、「革」は「革命」と同じ読みだよ。
- Ⅰ-3 「卵焼き」は、お弁当によく入っているよね。
- Ⅰ-4 「灰色」のことを「グレー」とも言うよね。
- Ⅰ-5 「鬼に金棒」という言葉は「ただでさえ強いのに、さらに強さが増すこと」だよ。
- Ⅱ-1 「さん」は「さんぞ」と、「み」は「みかく」と同じ字だよ。
- Ⅱ-2 「とら」は、「のぼ(る)」という字で、世界遺産「とらるく」という言葉があるよ。
- Ⅱ-3 「はいやく」とは「やくを割り当てる」と。「はい」は「くぼ(る)」という字だよ。
- Ⅱ-4 「ひつき」とは「書くこと」だよ。「ひつき」用具とも言うよ。
- Ⅱ-5 「ぶいん」とは「その羽に所属しているいちいん」だよ。

かなをよむとき
へんごをよむとき

第 学 年 組 番 名 前

Ⅰ 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 太陽系に属する惑星。
- 2 会社に勤務する。
- 3 親に孝行する。
- 4 天皇や皇帝のきさきを皇后という。
- 5 誤解していたことを謝る。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 日本れつとうの地図を見る。
- 2 液体をかねつする。
- 3 急いで答えをもとめる。
- 4 日本こゆうの文化について学ぶ。
- 5 しょうみ期限を確かめる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- Ⅰ-1 「にんべん」が付いた「係」も同じ読みだよ。
- Ⅰ-2 「勤」は「通勤」と「務」は「任務」と同じ読みだよ。
- Ⅰ-3 「孝行」とは「人を大切にすること」だよ。
- Ⅰ-4 「后」の字は「きさき」とも読むよ。
- Ⅰ-5 「誤って理解している」ことを「誤解」と言うよ。
- Ⅱ-1 「れつ」は「れつしや」と同じ字だよ。日本は「しま国」だね。
- Ⅱ-2 「か」は「くわ(える)」という字で、「かねつ」とは「ねつをくわえること」だね。
- Ⅱ-3 「もと(める)」は、「よつめゆら」や「ようめゆら」と同じ字だよ。
- Ⅱ-4 「こ」は「こてい」と、「ゆう」は「ゆうりよう」と同じ字だよ。
- Ⅱ-5 「しょうみ」とは「料理などをほめあじわう」とだよ。「しょう」は「しょうりよう」と同じ字だよ。